

会議結果報告書

1 会議の名称

令和8年度第1回光市立図書館協議会会議

2 開催日時

令和8年7月7日（火） 13時30分～15時00分

3 開催場所

光市立図書館 2階 視聴覚室

4 出席者

7名（欠席1名）

5 公開・非公開の別

公開（傍聴人0名）

6 会議の議事録（要旨）

（1）教育長挨拶

（2）資格審査（委員8人中7人出席、協議会成立）

（3）会長、副会長選任

（4）会長、副会長挨拶

（5）議事

ア 議題1 令和7年度事業報告について

（事務局）

令和7年度事業報告について説明

イ 議題2 令和8年度事業の推進について

（事務局）

令和8年度事業の推進について説明

ウ 議題3 各委員からの提案事項等について

（ア）小学校高学年における電子図書館の朝読での活用について

（委員）

学校司書に確認したところ、電子図書館の市内小学校との連携はまだ行われていないということだったので詳しい状況をお尋ねします。

子どもたちが電子図書館を利用できることで親と図書館に行かなくても本を借りられるようになるのではと思いました。

(事務局)

小学校高学年に朝読での電子図書館の利用というご提言についてですが、今年の2月に、第5次光市子どもの読書活動推進計画策定のため、市内の幼稚園、小学4年生の児童及び保護者、中学2年生、高校2年生に向けてアンケートを行いました。その中で小学4年生の保護者に「いつから電子書籍を読ませたいか」というアンケートを行ったところ、多くの保護者から「読ませたくない」もしくは「中学生から」というお声をいただきました。

ただし、光市立図書館としては子どもたちが紙と電子書籍と様々な媒体で読書に触れる機会を設けていくという施策をとっております。保護者の同意がある場合は小学生も利用可能となっておりますので、子どもの読書の選択肢を増やしたいご家庭においては、紙の図書と併せて電子図書館を読書の選択肢の1つとして積極的に利用していただきたいと思います。

(委員)

小学校では読めないということですね。

(事務局)

保護者と一緒に電子図書館の利用申請に来館頂ければ、IDとパスワードを発行しますのでそれで利用可能となります。

(委員)

これからの時代は低学年の内は紙媒体中心で、高学年になったら子どもたちがどちらでも選択できるようになればいいなと思いました。

(事務局)

再度、光市の現状をご説明いたしますと、毎年市内中学校の新入生に電子図書館利用カードをお配りしております。この度のご提案はそれを小学6年生から、もしくは小学5年生からに広げたらどうかというご提案かと思います。実は中学校との学校連携を開始して今年度で5年目（令和4年6月1日開始）となります。この度こうしたご意見を初めていただきましたし、合意形成を得ながらすそ野を広げていくということを考えています。前向きに学校教育課の協力や保護者のご理解を得ながら、子どもたちの選択肢を広げていきたいと考えています。

(イ) 子どもにレファレンスサービスを知ってもらう取組みについて

(委員)

本を使って調べる力も必要だと思います。本を使って調べることの楽しさ

を知ってもらえたら、読書の幅も広がると思います。

夏休みに図書館でそういうことができたらいいと思います。

(事務局)

学校連携では、調べ物に必要な資料の提供、教科に沿って必要な資料の提供するシステムは作っていますので、本の良さ、ネットの良さを子どもたちが享受できるように努めていきたいと思っています。そのために職員の専門性を高める研修には積極的に参加したいと思っておりますので、少し長い目でお願いします。

(ウ) 小学校における光市立図書館の本の読み聞かせや本の紹介について

(委員)

子どもたちが把握している本っていうと限定的になっているので、私たちボランティアと図書館で連携して小学校にいろんな本を紹介できたらと思います。子どもたちが学校で市立図書館の本を借りられるのが一番良いと思います。

(事務局)

光市立図書館では市内の学校に学校連携マニュアルを配布しています。その中で学校に対して団体貸出を行っています。他に出前おはなし会で司書が学校に出向いてブックトークを行うことがあり、その中で紹介した本を貸し出して学校内で読んでもらっています。

(エ) 小中学生を対象としたイベント開催による新規来館者の創出について

(委員)

ボランティアとの共催で光市立図書館50周年記念イベントが開催されています。その中でしおりづくりの参加者は年配の方が多かったのですが、お子さんを連れたお母さんが2組参加されていて非常に楽しそうでした。このイベントは平日に開催されていましたが、子ども向けのイベントとして、子どもたちが休みの時に開催することで新しく来てくれる子が増えるのではないかと思います。

(事務局)

実は夏休みイベントとして「しおり教室」を行う予定です。日ごろから活動頂いている読み聞かせボランティアの皆様には感謝するとともに読書や図書館に今まであまり関心が持っていなかった子どもたちに足を運んでもらうきっかけづくりを行っていくことが大変重要なのではないかと思います。これから学校や関係団体と連携しながら、小中学生がどんどん参加できるような魅力ある事業に努めていきたいと改めて思いました。

エ 議題4 その他

(委員)

ブックスタートについても教えてもらえますか。

(事務局)

ブックスタート事業についてお答えします。光市では現在、生後4ヶ月を迎えたお子さまのご家庭に絵本をお配りしています。母子保健推進員の訪問の際に本の紹介と配布の経緯を説明してもらっています。最近は訪問しても中々対応していただけないことが増えているようです。そのフォローアップとして、幼稚園、保育園の未就園児親子の会に「出前おはなし会」に行って、本の大切さや絵本の読みきかせ方を見てもらったりしています。次に何を讀んだらいいかをブックリストを作成し、紹介をしています。ブックスタート事業は図書館単独では難しいため、こども家庭課や母子保健推進員と連携しながら行っております。

(委員)

隣に文化センターもありますし、絵もあって、本もあってコラボしてできることがあるんじゃないかと思いました。

(委員)

私は自分の子どもがスポーツ館で習い事をしていました。習い事後、図書館で本を借りて帰るのが習慣になっていました。「スポーツした後、読書しましょう！」という呼びかけをやってみたらどうかと思いました。

(事務局)

委員の方々から文化センターやスポーツ館と連携した利用などのご意見を頂きました。今の図書館の魅力を活かしながら、次世代に繋いでいけたらと思っています。そのために色々なご意見を聴かせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(6) 連絡事項 令和6年度第2回光市立図書館協議会の開催日程について

(事務局)

次の開催日程は、来年の1月下旬から2月上旬を予定しています。

7 問合せ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440